



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年7月29日

上場会社名 TOTO株式会社 上場取引所 東 名 福
 コード番号 5332 URL http://www.toto.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 張本 邦雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理部長 (氏名) 本多 一秀
 問合せ先 (役職名) 広報部長 (氏名) 岩崎 亨 (TEL) 03 (3595) 9422
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	96,416	△0.9	1,155	691.9	1,465	394.2	656	—
23年3月期第1四半期	97,312	0.5	145	—	296	—	△2,743	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,781百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △5,664百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	1	92	1	92
23年3月期第1四半期	△7	92	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第1四半期	381,012		180,330		46.0	
23年3月期	379,215		180,164		46.2	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 175,270百万円 23年3月期 175,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年3月期	—	—	5	00	—	—	5	00	10	00
24年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	5	00	—	—	5	00	10	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	210,000	2.3	4,000	104.5	4,000	174.1	2,000	—	5	86
通期	455,000	4.9	17,500	24.9	18,000	29.9	13,000	154.1	38	07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期1Q	371,662,595株	23年3月期	371,662,595株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	29,866,443株	23年3月期	30,213,692株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期1Q	341,609,601株	23年3月期1Q	346,300,875株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、本予想に関する事項は[添付資料]P. 4「(2) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）におけるわが国の経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響によって、年度当初は、サプライチェーンの寸断、電力の安定供給への不安、自粛ムードの広がりなどが見られました。しかしながら、平成23年4月後半からはサプライチェーンの復旧が進み、各種製造業における部品不足の解消に伴って、国内生産及び輸出が立ち直り、経済活動は上向きに転じました。

当社グループにおきましても、震災の影響によって、年度当初は事業の先行きに不鮮明な面がありましたが、平成23年5月中旬以降は供給体制も回復し、当第1四半期の業績は、売上高に関しては9億6千4百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

一方、利益面では、営業利益が1億5千5百万円（前年同四半期比69.1%増）、経常利益が1億4千6百万円（前年同四半期比394.2%増）、四半期純利益が6億5千6百万円（前年同四半期は四半期純損失2億7千4百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

①国内住設事業

当第1四半期の業績は、売上高が8億9千1百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益が6億4千4百万円（前年同四半期は営業損失6億7千9百万円）となりました。

国内住設事業においては、東日本大震災により、一部工場や、物流拠点、販売拠点で被害を受けたこと、また材料・部材等の滞りと電力供給不足による生産面への影響を受けたことにより、一部の商品で、受注停止を行うなどの措置を行いました。このため平成23年4月度の業績は前年同月を下回りましたが、平成23年5月末にはサプライチェーンの復旧により商品を安定して供給できる体制が整い、主要商品の出荷を再開できましたので、その後業績は回復しました。第1四半期通期では、売上高は前年同四半期を下回ったものの、営業利益は前年同四半期を上回りました。

②海外住設事業

当第1四半期の業績は、売上高が1億9千8百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益が1億9千8百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。

<米州>

当第1四半期の業績は、売上高が3億9千8百万円（前年同四半期比9.9%減）、営業損失が5千6百万円（前年同四半期は営業利益3千4百万円）となりました。

米国では、加速する節水規制に対応して、技術の優位性を活かした節水商品の拡販を行っています。また、バスルーム空間全体を提案するスイート商品での高付加価値商品の品揃えを充実させ、空間提案による販売活動を行うなど、中高級市場でのトップメーカーの地位を目指した事業活動を推進しています。

<中国>

当第1四半期の業績は、売上高が9億7千6百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業利益が1億9千4百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

中国では、高級ブランドとしての地位と事業基盤をさらに揺るぎないものにするために、現地メーカーも含め他社を圧倒する販売、サービス体制の強化を推進しています。また、中国国内の需要増に対応するため、工場の増設など積極的な生産・供給体制の強化を図っています。

<アジア・オセアニア>

当第1四半期の業績は、売上高が5億4千7百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益が3億6千2百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

アジア・オセアニア地域では、世界の供給基地としてタイ、インドネシアでの生産・販売体制を充実させるとともに、インド、中東、ベトナムなどの成長著しい新興国市場での販売力を強化しています。

<欧州>

当第1四半期の業績は、売上高が6億7千3百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業損失が2億6千3百万円（前年同四半期は営業損失4億4千9百万円）となりました。

欧州では、ドイツ、フランス、イギリスを中心に事業展開しています。ドイツ・フランクフルトで開催された「ISH（International Sanitary and Heatingの略称）」出展を起点にショールームでの空間展示を推進し、ネオレストをはじめとした環境にもやさしい独自の洗浄・節水技術を搭載したデザイン性の高い商品を中心に、欧州におけるブランド力強化と事業展開の加速を図っています。

③新領域事業

当第1四半期の業績は、売上高が33億4千8百万円（前年同四半期比18.8%減）、営業損失が7億7千万円（前年同四半期は営業損失3億3千5百万円）となりました。

環境浄化技術「ハイドロテクト」を訴求する「環境建材事業」、TOTOのオンリーワン技術を活かした「セラミック事業」、環境面でも今後大きく成長が期待される「燃料電池事業」の3つの事業を「新領域事業」としており、Vプラン2017計画達成に向けた事業活動を推進しています。

<環境建材事業>

当第1四半期の業績は、売上高が19億5千8百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業損失が4億3千8百万円（前年同四半期は営業損失4億2千6百万円）となりました。

「ハイドロテクト」は、光触媒を利用し光や水の力で地球も暮らしもきれいにする環境浄化技術であり、技術ブランドです。既に多くのお客様にご活用いただいております。建物の外壁から室内の壁や床までさまざまな製品が利用されています。また、事業戦略も国内中心から海外へと拡大させ、業種を横断したパートナーシップ「ハイドロテクトの輪」をグローバルに広げ、「ハイドロテクト」の普及とともに環境貢献を進めています。

<セラミック事業>

当第1四半期の業績は、売上高が13億8千9百万円（前年同四半期比33.8%減）、営業損失が3億3千2百万円（前年同四半期は営業利益9千1百万円）となりました。

オンリーワン技術を活かした構造部材、静電チャックなどの高精度精密セラミックス部品に特化し、Vプラン2017における全社横断の「ものづくり革新」活動を行うことにより、最適な生産体制の整備を進めています。

<燃料電池>

燃料電池の心臓部である発電モジュールにおいて、当社のオンリーワン技術であるセラミック製発電セル（SOFC）および発電モジュールの製造・開発を推進し、早期事業化を目指しています。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想につきましては、供給の遅れやマインドの低下により停滞していた国内需要が、6月以降に想定より回復基調となり、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益が平成23年6月29日に公表した第2四半期(累計)連結業績予想及び通期連結業績予想を上回る見込みとなりましたため、業績予想を下記の通り修正いたします。

平成24年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	205,000	1,500	2,000	0
今回修正予想(B)	210,000	4,000	4,000	2,000
増減額(B-A)	5,000	2,500	2,000	2,000
増減率(%)	2.4	166.7	100.0	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	205,341	1,956	1,459	△2,798
(ご参考)前期比増減率(%)	2.3	104.5	174.1	-

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	450,000	15,000	16,000	11,000
今回修正予想(B)	455,000	17,500	18,000	13,000
増減額(B-A)	5,000	2,500	2,000	2,000
増減率(%)	1.1	16.7	12.5	18.2
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	433,557	14,014	13,855	5,115
(ご参考)前期比増減率(%)	4.9	24.9	29.9	154.1

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,670	33,441
受取手形及び売掛金	73,550	67,895
有価証券	13,500	10,000
商品及び製品	29,013	36,296
仕掛品	7,639	9,715
原材料及び貯蔵品	10,439	11,214
その他	15,795	16,775
貸倒引当金	△405	△371
流動資産合計	184,203	184,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,803	51,284
土地	38,292	38,682
その他（純額）	35,115	34,514
有形固定資産合計	121,212	124,482
無形固定資産		
のれん	111	99
その他	11,603	11,848
無形固定資産合計	11,715	11,947
投資その他の資産		
投資有価証券	36,188	34,212
その他	26,357	25,868
貸倒引当金	△462	△465
投資その他の資産合計	62,083	59,614
固定資産合計	195,011	196,044
資産合計	379,215	381,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,343	54,602
短期借入金	17,064	25,099
未払法人税等	2,055	811
製品点検補修引当金	147	135
事業再編引当金	909	695
震災損失引当金	261	142
その他	50,260	48,889
流動負債合計	128,042	130,376
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	22,128	22,147
退職給付引当金	36,566	35,597
その他	2,313	2,559
固定負債合計	71,007	70,305
負債合計	199,050	200,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,579	35,579
資本剰余金	29,429	29,429
利益剰余金	143,355	142,264
自己株式	△17,284	△17,089
株主資本合計	191,079	190,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,613	△3,365
繰延ヘッジ損益	0	△20
為替換算調整勘定	△13,129	△11,526
その他の包括利益累計額合計	△15,742	△14,912
新株予約権	370	370
少数株主持分	4,457	4,689
純資産合計	180,164	180,330
負債純資産合計	379,215	381,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	97,312	96,416
売上原価	61,589	59,983
売上総利益	35,722	36,433
販売費及び一般管理費	35,577	35,278
営業利益	145	1,155
営業外収益		
受取利息	121	161
受取配当金	340	324
持分法による投資利益	387	248
その他	388	169
営業外収益合計	1,237	903
営業外費用		
支払利息	112	104
売上割引	211	207
為替差損	513	118
その他	248	161
営業外費用合計	1,086	592
経常利益	296	1,465
特別利益		
投資有価証券売却益	16	46
特別利益合計	16	46
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
有価証券評価損	510	11
会員権評価損	—	1
減損損失	43	—
事業再編費用	451	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	911	—
震災損失	—	341
特別損失合計	1,917	353
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,603	1,159
法人税、住民税及び事業税	733	633
法人税等調整額	223	△283
法人税等合計	956	350
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,560	808
少数株主利益	182	152
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,743	656

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△2,560	808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,759	△751
繰延ヘッジ損益	△276	△21
為替換算調整勘定	756	1,586
持分法適用会社に対する持分相当額	175	158
その他の包括利益合計	△3,103	972
四半期包括利益	△5,664	1,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,898	1,478
少数株主に係る四半期包括利益	234	302

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	国内住設事業	海外住設事業				
		米州	中国	アジア・オセアニア	欧州	計
売上高						
外部顧客への売上高	79,329	4,344	6,192	2,757	583	13,877
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,153	3	2,255	2,332	8	4,600
計	81,483	4,348	8,447	5,089	592	18,477
営業利益 又は営業損失(△)	△679	34	1,690	355	△449	1,631

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	新領域事業			計				
	環境建材事業	セラミック事業	計					
売上高								
外部顧客への売上高	1,949	2,099	4,048	97,256	56	97,312	—	97,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	74	—	74	6,828	183	7,011	△7,011	—
計	2,023	2,099	4,123	104,084	239	104,324	△7,011	97,312
営業利益 又は営業損失(△)	△426	91	△335	616	69	686	△540	145

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	国内住設事業	海外住設事業				
		米州	中国	アジア・オセアニア	欧州	計
売上高						
外部顧客への売上高	78,171	3,916	7,371	3,103	671	15,062
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,020	1	2,391	2,375	2	4,771
計	80,191	3,918	9,763	5,478	673	19,834
営業利益 又は営業損失(△)	644	△56	1,944	362	△263	1,986

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	新領域事業			計				
	環境建材事業	セラミック事業	計					
売上高								
外部顧客への売上高	1,752	1,383	3,135	96,370	46	96,416	—	96,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	206	6	212	7,003	150	7,154	△7,154	—
計	1,958	1,389	3,348	103,373	197	103,571	△7,154	96,416
営業利益 又は営業損失(△)	△438	△332	△770	1,861	29	1,890	△735	1,155

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。